

セネガル国立公文書館

アフリカ

佐藤 章

一九世紀の末から西アフリカの
 広大な地域を領有したフランス
 は、国家・政府の記録を収蔵し、
 市民の閲覧に供するという近代的
 文書館制度の発祥の国だったこと
 もあって、西アフリカ植民地にお
 いても早くから公文書の体系的収
 蔵を行っていた。一九一三年には、

フランス領西アフリカ (Afrique
 occidentale française以下AOF)
 後にセネガル、モーリタニア、
 マリ、ニジェール、オートヴォル
 タ (現ブルキナファソ)、ベナン、
 コートディヴォワール、ギニアと
 して独立することになる八植民地
 の連邦の総督府ならびに各構成
 植民地の総督府に公文書保管所を
 設立することが定められた。一九
 四三年には、AOFに所在する公
 文書館の運営が研究機関である国
 立ブラックアフリカ研究所 (IF
 AN) に委ねられることとなり、

公文書を学術的見地から保存・活
 用する体制が整備された。フラン
 ス統治下で設立された公文書館
 は、植民地独立後は各々の新政府
 のもとで国立公文書館として引き
 続き運営され、今日に至るまで歴
 史研究の重要な資料を提供し
 ている。

旧フランス領西アフリカ諸国の
 国立公文書館のなかで、セネガル
 国立公文書館 (Archives du
 Senegal以下AS) は特別な存在
 である。AOF全体を統括する総
 督府の所在地であったというセネ
 ガルの特性を反映して、ASの植
 民地期アーカイブは、セネガル植
 民地に関するものだけでなく、植
 民地連邦であるAOFに関するも
 のも収める。今日、「AOFコレ
 クション」(fonds de l'AOF)と
 呼ばれるこのコレクションは、連
 邦総督府の公文書ならびに構成植

民地から連邦総督府に宛てて送付
 された政治・社会・経済情勢、財
 政、法制度、裁判記録、軍事・警
 察活動、教育・保健衛生・公共事
 業などの状況報告など、植民地経
 営に関わる多面的な文書から構成
 されており、フランス統治時代の
 西アフリカの状況を知るうえで第
 一級の文書資料となっている。

これほどの重要性を持つコレク
 ションであるから、情報技術を駆
 使して遠隔地から調査、閲覧でき
 るようにすれば、西アフリカ地域
 研究の飛躍的な発展が進むことは
 間違いない。しかし残念ながら、
 現在までのところ、資料そのもの
 はもとより目録に関してもデジタ
 ル化はほとんど進展していない。
 コレクションを利用するには現地
 に赴く必要がある。

ASは現在、セネガル共和国首
 相府の所管下にあり、同国の首都

ダカールの中心街であるプラトー
 地区に所在する。同地区は、大統
 領宮をはじめとする政府関係機関
 のほか、国内外の大手企業のオ
 フィスが集中する政経の中心街で
 ある。その一角を占める大統領宮
 と道を隔てて向かい合う中央合同
 庁舎の一階にASはある(写真参
 照)。開館時間は平日の九時〜一
 七時(水曜のみ一〇〜一七時)で
 ある(ただし一三〜一五時は閲覧
 請求不可)。初回入館時に、調査
 目的・連絡先などに関する質問票
 に記入すれば、その日から利用で
 きる。一日の閲覧資料は五点まで
 と制限がある。有料の複写サービ
 スも利用できるが、閲覧室での写



風光明媚なダカールの中心街に建つ中央合同庁舎にASはある
 (筆者撮影、2006年7月)

真撮影やスキャナーでの取り込み
に特に制限はない。

筆者は、同じAOFの構成植民
地であったコートデヴィヴォワール
の植民地期資料を、コートデ
ヴォワール国立公文書館
(Archives nationales de Côte
d'Ivoire以下ANCI)でも継続
的に調査しているが、ANCIで
は資料目録が十分に整備されてお
らず、資料探索はかなりの困難を
伴う(ANCIに関する筆者の報
告は参考文献①②を参照)。これ
と比べてASは、早くからアーキ
ビスト養成校が設けられるなど
アーカイブ事業に積極的だったセ
ネガル政府の姿勢を反映して、ス
タッフ数も多く、資料目録も完全
ではないながらもかなり網羅的に
整備されている。体系的な調査が
可能な一定の環境は整っている。

ASでのAOFコレクションの
調査を計画される方には、アジア
経済研究所図書館に収蔵している
資料目録が大いに助けになろう
(表1参照)。これは二〇〇六年七
月時点で入手可能なすべてのAOF
コレクションに関する目録であ
り、日本で収蔵があるのは当館の
みである。また、ASに関する基
本情報は同館のホームページで知

表1 アジア経済研究所図書館で閲覧可能なAS所蔵の
「AOFコレクション」資料目録

Répertoire Série B: Gouvernement général de l'A.O.F. correspondance
générale 1895-1947. (1999) [FW/O16/R1]
Répertoire numérique Sous-série 3C: Distinctions honorifiques A.O.F.
1882-1959. (2001) [FW/O16/R2]
Répertoire Sous-série 2G: Rapports périodiques: deuxième tranche
1941-1960. (2001) [FW/O16/R7]
Répertoire Série H: Santé, fonds de l'A.O.F. (1996) [FW/O16/R22]
Répertoire Série M: Tribunaux judiciaires 1819-1956 du fonds de
l'AOF. (1996) [FW/O16/R23]
Répertoire numérique de la Série O: Enseignement de l'A.O.F.
1895/1958. (1996) [FW/O16/R25]
Répertoire 1P: Direction générale des travaux publics de l'Afrique
occidentale française, organisation et fonctionnement 1903-1960.
(2000) [FW/O16/R9]
Ports et rades en Afrique occidentale française 1919-1958
(Répertoire 2P-AOF). (2000) [FW/O16/P1]
Urbanisme et habitat en Afrique occidentale française (1904-1958)
(Répertoire Série 4P). (1999) [FW/O16/R10]
Routes et ponts en Afrique occidentale française (1920-1958)
(Répertoire Série 5P). (1999) [FW/O16/R11]
Répertoire Sous-série 6P: Chemin de fer de l'A.O.F. 1906-1958. (2000)
[FW/O16/R13]
Répertoire Sous-série 5Q: Fonds A.O.F. Les sociétés de prévoyance, les
coopératives, les sociétés de mutuelles de production rurale, les
sociétés de mutuelles de développement rurale 1919-1959. (2001)
[FW/O16/R14]
Répertoire Série R: Agriculture, élevage, eaux et forêts, pêche en A.O.F.
1820-1959. (1997) [FW/O16/R17]
Répertoire des chronos du Cabinet militaire du Gouverneur de l'AOF
1904-1959. (2000) [FW/O16/R31]
Répertoire des chronos du Cabinet civil du Gouverneur de l'AOF
1926-1959. (2000) [FW/O16/R30]
Répertoire du fonds de la direction générale des finances de l'A.O.F.
1909-1960. (2000) [FW/O16/R28]

(注)丸カッコ内は刊行年。刊行元はいずれも、Primature, Secrétariat général du
gouvernement, Direction des archives du Sénégal (Dakar)。角括弧内はアジア経
済研究所図書館での請求記号。

ることができ(URL: <http://www.archivesdusenegal.gov.sn/>)。

植民地化以前まで在来の社会が
文字記録を残してこなかったサハ
ラ以南アフリカにおいて、植民地
当局が残した行政文書は、歴史的
過去を再構成するための貴重な手
がかりである。むしろ、それは支
配者側が残したものである点で一
定の限界がある。しかしながら、
厳密な史料批判を通じた「批判的
かつ創造的」な読みの作業(参考

文献③)を積み重ねることによっ
て、まだこの世に知られていない
数々の事実が明らかになるに違
ない。ASに収められた資料は、
まさしく、西アフリカ地域研究に
とっての偉大な宝なのである。

(さとう あきら/アジア経済研究
所 アフリカ研究グループ)

《参考文献》

①佐藤章「二〇〇三「コートデ
ヴォワール国立公文書館(AN

CI)の植民地期資料について」
『アジア・アフリカ言語文化研
究』第六六号、二四九―二七三
ページ)。

②「二〇〇五」「コートデ
ヴォワールのアーキビストた
ち」『アジア研 ワールド・トレ
ンド』第一一四号、二〇〇五年
三月、二八―二九ページ)。

③北川勝彦「二〇〇八」『アフリ
カ史研究と史料批判』(『アフリ
カレポート』第四七号、二〇〇
八年九月、二ページ)。